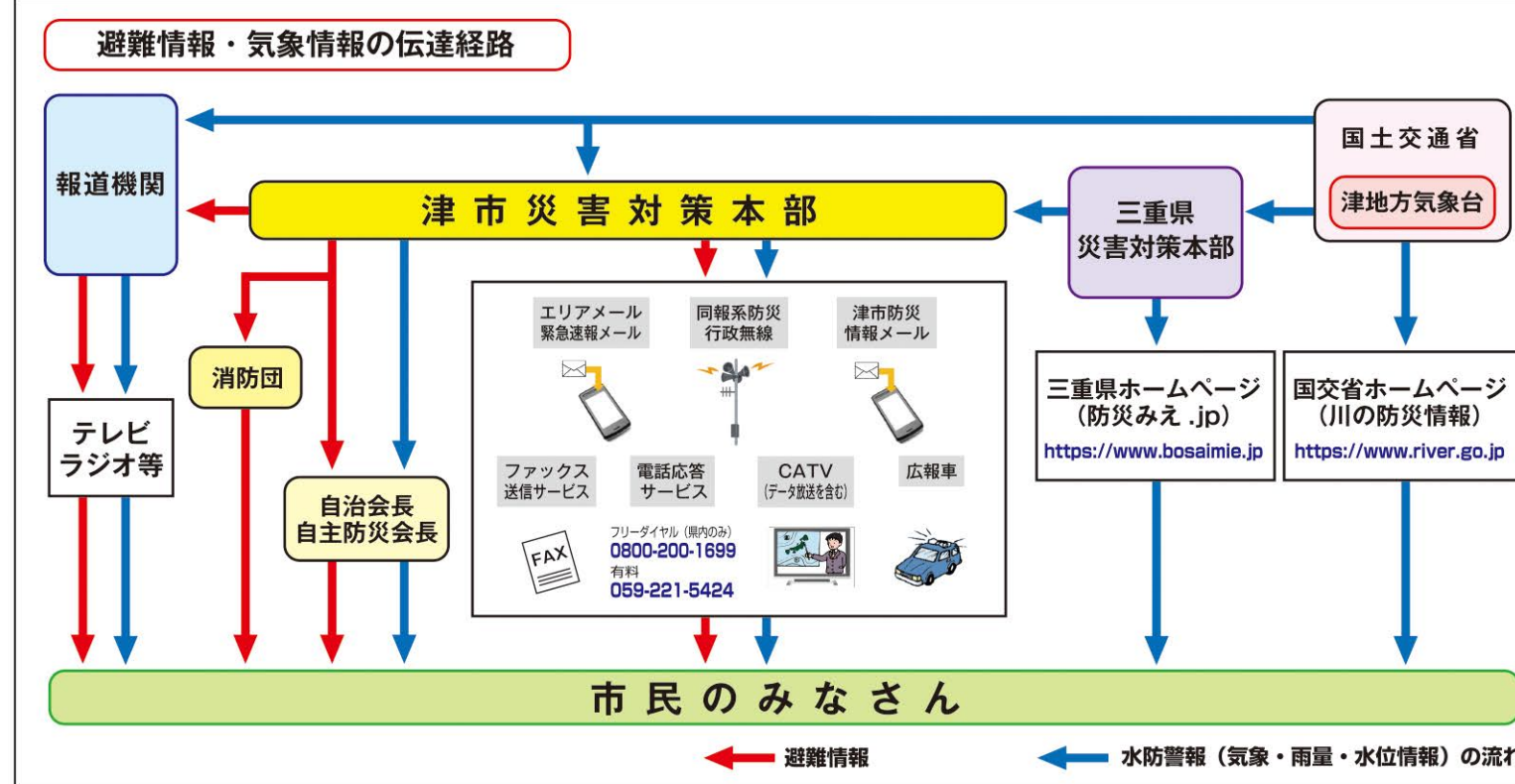


志登茂川水系(中の川)流域 洪水ハザードマップ

このハザードマップは、中の川が大雨によって洪水になった場合の浸水想定区域(三重県県土整備部作成)に基づいて、流域で想定される浸水範囲とその程度や、各地域の避難所等を示したものです。

- 1)対象とした降雨
想定最大規模の降雨(現状の科学的な知見や研究成果を踏まえ、ある程度の蓄然性をもって想定し得る最大規模のもの)
【中の川流域の24時間総雨量836mm】
- 2)洪水浸水想定区域は、マップ作成において中の川(三重県管理区間)の河道整備状況等を勘案して、対象とした降雨に伴う洪水に伴う氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。
- 3)洪水の予想される区域及びその程度は、雨の降り方や土地の形態の変化及び河川の整備状況により変化する場合があります。

この地図上で色がついている区域は、大雨により浸水するおそれがある区域です。特に家屋倒壊等氾濫想定区域や浸水深が深い区域においては、避難情報に従って当該区域から安全な場所に速やかに・確実に立ち退いてください。



事前の心構えと避難的心得

◆家のまわりを点検・整備

家の排水溝が詰まっていなければか、雨の降や雪で取除される物の除去等が必要。

◆家庭でできる簡易水防

浸水が小さいときは、下記のようにすることで、水の浸入を抑えることができます。
・穴あきのゴミ袋やポリタック等に水を入れ、水の浸入口となるころに設置する。
・ブタやをつなぐ水の浸入口となるところへ設置する。
・板の板土間に藁などの止水板を作る。

◆安全な避難路の確認を

避難場所等までの経路は、あらかじめ自分たちで決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。

◆正確な情報収集と早めの避難を

テレビ、ラジオ等で最新の気象情報、火災情報、避難情報に注意しましょう。
危険を感じたら早めの避難をしましょう。

◆二人以上の避難を

避難するときは2人以上で、
周辺近所への声をしましょう。

◆氾濫水は勢いが強い

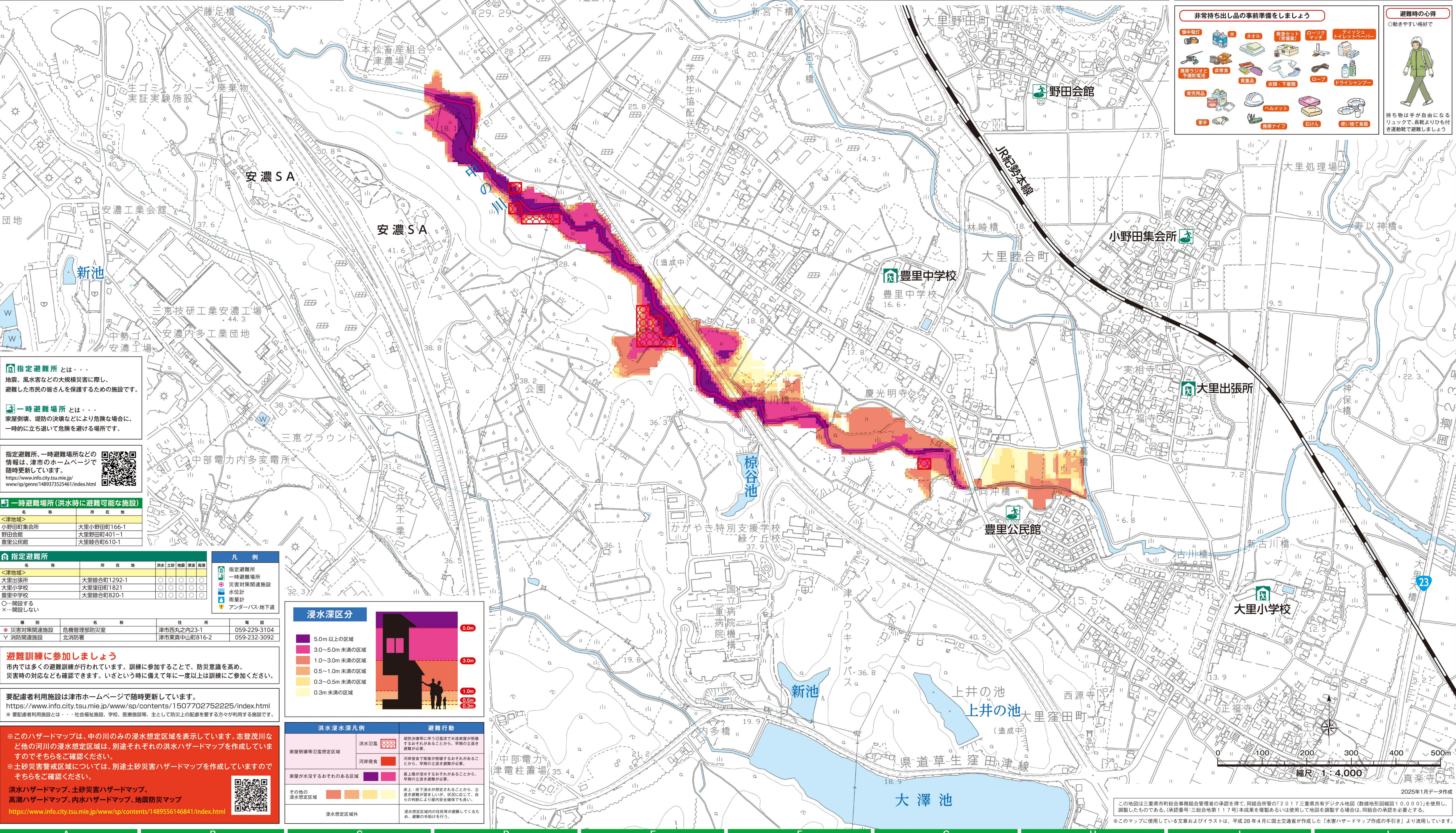
氾濫水は、勢いが強く水深が膝程度であっても大人でも歩くのが困難です。
緊急避難として、高い堅牢な建物にとどまることも選択の第一です。

非常持ち出し品の事前準備をしましょう

避難時的心得

○動きやすい格好で

持ち物は手が自由になるリュックで、長靴より履きやすい動きやすい避難しましょう。



この地図は三重県市町村総合事務組合管理者の承認を得て、同組合所管の「2017三重県共有デジタル地図（数値地形図縮図10,000）」を使用し、調製したものである。（承認番号：三総合地第117号）本成果を複製あるいは使用して地図を調製する場合は、同組合の承認を必要とする。

※このマップに使用している文章およびイラストは、平成28年4月に国土交通省が作成した「水害ハザードマップ作成の手引き」より流用しています。